



ぼうさい おやまだ

第 11 号

【発行・問い合わせ先】

小山田地区防災連絡協議会

小山田地区団体事務局

山田町 1373 番地 3

☎・Fax (0 5 9) 3 2 8 - 3 3 2 0

大切な文化財を 皆さんで守りましょう！



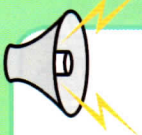
文化財の搬出です。慎重に！



煙体験中です！

本堂への放水訓練

平成27年1月23日(金) 文化財保護のための防災訓練 (山田町瑞雲寺安性寺にて)



平成 26 年度 防災・防火標語の入選作



今年度は総数396作の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。優秀作品のみを掲載しました。ご了承ください。今後も防災意識向上のための啓発につなげていきたいと思ひます。

「あわてない ひなんくんれん おもいだし」
「さいかくにん ひなんけいろと ぼうさいグズ」
「ひろげよう みんなの町に 防災の輪」
「大地震 やくにたったよ 防災くんれん」
「あぶないよ！ タコ足配線 火事の元」
「身を守るため 防災訓練 参加しよう」
「備えておこう 考えておこう 起こりうるものために」
「防災準備 あなたの家は 大丈夫？」
「準備は 命をつなぐ 第一歩」
「確認しよう みんなを守る 防災グズ」
「安心は あなたの日頃の 備えから」
「参加しよう まちのみんなの 防災訓練」
「絶やさない 隣近所も 声をかけ」

小山田小 1 年
小山田小 2 年
小山田小 3 年
小山田小 4 年
小山田小 5 年
小山田小 6 年
西陵中 1 年
西陵中 1 年
西陵中 2 年
西陵中 2 年
西陵中 3 年
西陵中 3 年
一般

打田 蒼空さん
山下 祥昌さん
委文 百合愛さん
西岡 杏さん
蔵丸 凌平さん
委文 優衣さん
萩村 拓郎さん
清水 美伶さん
川口 玲代さん
石田 竜也さん
竹内 伶奈さん
委文 沙恵さん
萩 伸元さん



地域の守り主 小山田消防分団の活動

東日本大震災から4年、阪神淡路大震災から区切りの20年が過ぎました。

この間にも全国各地で台風・地震・噴火・大雪・大雨・竜巻等の自然災害が規模を大きくして発生し、被害を受けています。

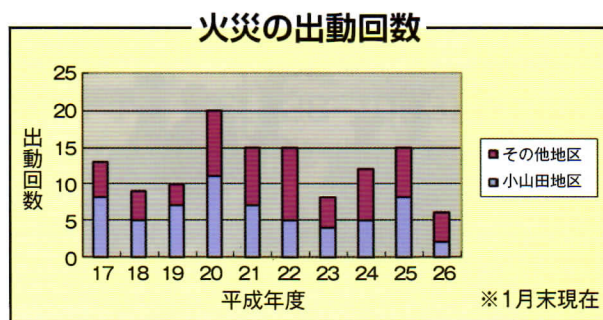
この地方では東海・東南海・南海地震の3連動地震の発生が危ぶまれている中、昨年8月、三重県に台風11号の影響による『大雨特別警報』が発せられ、四日市市は全市に避難指示を出し日本中から注目されましたが、大事に至らず幸いでした。

小山田消防分団は、引き続き『自分達の町は自分たちで守る』をコンセプトに活動しています。

1. 消防分団の活動

(1) 火災発生時の消火活動

平成26年度の火災出動は6件ありましたが、小山田地区はボヤと車両火災の2件のみで少なかったです。これに油断せず引き続き火災予防に努めましょう。



(2) 大雨特別警報の対応

昨年8月、気象庁は三重県に台風11号の影響による『大雨特別警報』を発令し、これを受けて四日市市は全市に前例のない『避難指示』を出しました。

この対応として小山田消防分団は直ちに召集され、11～12日の昼夜河川等の推移を見守るパトロールを行いました。特に異常は認められませんでした。しかし地区住民は避難に関して意識が薄く、特に行動しなかったため今後課題を残す結果となりました。

また、10月の台風18号・19号に対しても同様のパトロールを行いました。若干の被害はあったものの小山田地区では大きな異常は認められませんでした。

(3) 防災訓練などの住民指導

平成26年度は小山田地区全9町で防災訓練が実施され、小山田消防分団は7地区で指導を行いました。その内容は、火災発生時の消火器による初期消火及び消火栓からの放水による初期消火の必要性に対応したもの、また東海・東南海・南海地震を危惧した災害対応の体験訓練が主体でした。訓練は参加者全員が、見学ではなく積極的に体験してもらえるように努力しています。

小山町ではあいにくの雨天の中、寒さに震えながらの訓練でしたが、多数の方々が参加し、防災意識の高さも感じました。特に最後の炊き出しでいただいた熱々の豚汁が本当に美味しかったこと。御馳走さまでした。

9月28日：山田町、内山町 10月5日：西山町
11月9日：小山町 11月16日：堂ヶ山町、和無田町
1月12日：六名町



2. 四日市市消防操法競技大会

毎年開催される四日市市消防分団対抗の消防操法競技大会は、7月27日（日）中央緑地芝生広場で開催されました。

梅雨時の悪条件の中、約1ヶ月間選手は汗水垂らして練習に励み、また大会当日には熱い応援を頂きましたが、残念ながら入賞は逃げていきました。これに懲りずにこれからも応援をよろしくお願い致します。



競技出場精鋭メンバー



★ 四日市市消防団消防操法競技大会



3. 消防出初式



平成27年1月11日（日）に四日市市消防出初式が挙行されました。

今年は、観光大使の加藤ゆりさん（四日市市出身、元ミス東大で現在情報番組ZIPのレギュラーとして活躍中）を一日消防署長に迎え、「消防車の分列行進」「式典」「アトラクション：はしご登り演技・幼稚園児の踊り」「一斉放水」等が行われました。

また、小山田分団車の子ども隊長には伊藤正也団員の長男大琥君が乗車し、祖父の伊藤忠夫現四日市市消防団長の観閲を受けました。

式典では、河合和司小山田分団員が表彰されました。



三重県消防協会北勢支会長表彰
表彰徽章（勤続3年）



小山田分団車の分列行進



子供隊長伊藤大琥君と
父正也団員

4. 消防団員の募集

小山田消防分団は欠員が続いています。

小山田地区在住、または勤務している18歳以上で健康な方であれば入団できます。

男性・女性を問わず
消防団員に応募して下さい。
元気のある方の入団を
待っています!!



出初式のアトラクションで
『はしご登り!!』
私のように女性分団員も
活躍していますよ。



我が町の防災訓練

今年度は小山田地区全9町と山田町安性寺(表紙)と福祉避難所になっている青山里会の11か所で防災訓練が行われました。

青山里会防災訓練 平成26年9月1日(土) 小山田地区市民センター及び青山里会

指定避難所の小山田地区市民センターに避難して来たけが人や病人を福祉避難所の青山里会に搬送し、手当をする訓練をしました。大雨の中、施設利用者と地域の方と職員総勢100人以上が参加し、それぞれの担当で手際よく進められ、『人を助けるという使命を担っている』という意識を皆さんからひしひしと感じました。



車椅子とストレッチャーで救急搬送中



応急手当中



けが人を受け入れるための数部屋があっという間に完成しました。

鹿間町防災訓練 平成26年9月7日(土) 鹿間町構造改善センター

9月に入ったとは言え、猛暑で炎天下、汗を拭きながら水分補給をしっかりと取り体調を考慮しながら、避難誘導訓練、発電機や浄水器などの防災資機材点検及び使用訓練、起震車による震度7の地震体験、アルファ米を使った炊き出し訓練を行いました。



炊き出し訓練



鹿間町の皆さんお疲れ様でした。



さあ、揺れますよ！



発電機と浄水器の使用訓練です。

山田町防災訓練 平成26年9月28日(日) 山田町高若センター

消火栓と消火栓ボックスの位置と使用方法の確認、放水訓練、天ぷら火災の消火訓練、水消火器を使った初期消火訓練、アルファ米を利用した炊き出し訓練、AEDや担架を使った応急処置訓練などが行われました。そして大災害時の備えの重要性を学び、非常持出袋が配られました。



消火栓使用訓練



毛布を使って担架を作りました。



わかめごはんと五目ごはんのアルファ米を使いました。



内山町防災訓練 平成26年9月28日(日) 内山町第二集会所

『20世紀 日本の大災害』をDVDで学習し、過去の経験を教訓に一人一人の防災意識を高めて、災害に備える重要性を学びました。内山町は土砂災害や天白川の氾濫により周辺地域との寸断が起こりうるところです。これからも自分の身は自分で守るという意識をしっかりと持って訓練に参加しましょう。



DVDで学習中



水消火器を使った初期消火訓練



アルファ米の作り方を説明しています。

ホースの先の着脱の説明を受けています。

美里町防災訓練 平成26年10月4日(土) ヤマギシさん太陽の広場

ヤマギシさんの防災担当の方の指導で、消火器を使った初期消火訓練と放水訓練が行われました。このように企業と地域が一体となって行う防災訓練は共助の面からとても重要性が高いと思います。また美里町には今年度防災倉庫が設置されました。災害に備えて大いに活用してください。



粉末消火器を使った初期消火訓練



ヤマギシさん、いつもご協力ありがとうございます。



西山町防災訓練 平成26年10月5日(日) 西山町構造改善センター

四日市消防隊員と小山田消防分団員の指導のもと、AEDを使った救急救命訓練が行われました。2時間みっちり充実した内容の講習を受けることが出来ました。以前に目の前で家族が倒れられた経験を持つ男性は、もっと早くこのような講習を受けたかったと訓練の必要性を訴えてみえました。



四日市消防の救急車です。



倒れている人の意識や呼吸の有無を確認中です。



AEDの使い方の説明を受けています。さあやってみましょう！

小山町防災訓練 平成26年11月9日(日) いこいの広場



震度7の体験です。



仮設トイレ設置訓練



炊き出し訓練
心も体もあったまりました。



小山町では新設された公園『いこいの広場』で(財)三重県環境保全事業団と合同で行われました。時折大雨が降り、寒い中で訓練でしたが、みんなで協力しあい、初期消火訓練・放水訓練・AEDを使った救急救命訓練など数多くの訓練が出来ました。訓練後に炊き出しで振る舞われた豚汁は「めっちゃ、おいしい～」の感嘆の声が上がりました。皆さんお疲れ様でした。

和無田町防災訓練 平成26年11月16日(日) 和無田町構造改善センター



3班に分かれて訓練が行われました。

小山田消防分団員の指導を受け、水消火器を使った初期消火訓練では、子どもたちも積極的に体験しました。「はい、こうやって下から…、そうそう！」



後方で消火栓の確認と使用方法の説明を受けています。

発動機を使った放水訓練です。

みんな真剣な表情でAEDを使った救急救命法の説明を受けています。



堂ヶ山町防災訓練 平成26年11月16日(日) 堂ヶ山町構造改善センター

小山田消防分団員の指導のもと、まず水消火器と粉末消火器を使い、初期消火訓練を行いました。子ども消防服を着た子どもたちは小山田消防分団車の前で放水の構えをしながら大喜びでした。将来、小山田消防分団員として活躍してくれるかな？ 出前講座では四日市市役所危機管理室の方に地震発生のメカニズムを学びました。



消火器使用訓練



カッコいいでしょ！



地震発生は大陸プレートと海洋プレートの間に蓄積されたエネルギーが…



六名町防災訓練 平成27年1月12日(月・祝) 六名町集会所

未明から降った雪が積り、凍てつくような寒い日にもかかわらず、たくさんの方が早朝より訓練に参加してくれました。吹雪のように雪が降る中、子どもたちも元気に頑張りました。



落ち着いてね。



また雪が降って来ました。



土のう積み訓練



自分達の町は、自分達の力で しっかり守りましょう!



毎年、各町の自主防災隊による防災訓練に大勢の方が参加しています。今後30年のうちに約80パーセントの確率でマグニチュード8程度の大地震（東海地震・南海地震・南海地震）が起こると言われています。また8月の台風11号では四日市市で大雨特別警報が出され、今までに経験したことのないような大雨による避難指示に戸惑った人が多かったと思います。「小山田地区では津波は関係ないから」とか「起こったときに考えればいい」とか思わないで、自分はもちろん大切な家族の命を守るために、明日にも起こりうる大地震や大災害を想定して災害対策に真剣に取り組んで行きましょう。

家族や地域の人たちとよく話し合って、 事前に準備しておきましょう!!

今年もテレビ、新聞等で火災の逃げ遅れによる犠牲者（高齢者が多い）の報道がされています。小山田地区は高齢者率が最も高いので特に注意が必要です。「住宅用火災警報器」は、家庭内の火災をいち早くキャッチし、逃げ遅れの犠牲者を減らす切り札です。まだ設置していない家庭では早急に設置しましょう!

みんなで考えよう!

防災

- 火災報知器
- 家具の固定
- 避難場所・避難経路の確認
- 持ち出しグッズの常備
- 消火器の常備・点検
- 防災訓練等の参加

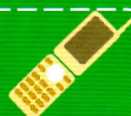


小山田地区を
『災害に強いまち』
にしましょう!!





わが家の非常連絡メモ



緊急連絡先

火事・救急 119
 警察 110
 災害伝言ダイヤル 171
 小山田地区市民センター 328-1001
 小山田警察官駐在所 328-1148

病院

総合医療センター 345-2321
 市立四日市病院 354-1111

電気

中電四日市営業所 ☎0120-985-340
 中電鈴鹿営業所 ☎0120-985-342

水道

四日市市上下水道局 351-1211

AED設置場所

小山田地区市民センター 328-1001
 小山田小学校 328-1093
 西陵中学校 328-1013

家族で話し合った決め事

家族の集合場所など

収容避難所(○をつける)

小山田小学校 (TEL328-1093)
 西陵中学校 (TEL328-1013)

災害伝言ダイヤルの利用方法

※171をダイヤルしたら、音声案内に従って操作するだけです!

伝言を録音するには

※音声案内に従う
 171をダイヤル ⇒ 1 ⇒

伝言を聞くには

※音声案内に従う
 171をダイヤル ⇒ 2 ⇒

連絡をとりたいた人の電話番号を
 市外局番からダイヤルする。

音声案内に従って、
録音・再生

家族の連絡先

電話／	電話／
電話／	電話／
電話／	電話／
電話／	電話／

メモ